



事務所通信

発行：〒 542-0081 大阪市中央区南船場 3丁目 5番 8号 上田税理士事務所 06-6253-8341

今月のニュース：

平成 20年 1月より上田税理士事務所に新しいスタッフが入りました。

はじめまして、新しく上田税理士事務所に入所しました齋藤然(さいとうしかり)です。お客様のお役に立てるよう 所長や先輩方を見習い努力して参りますので、宜しくお願ひ致します。

事務所ブログ「会計で会社を強くする」：担当 上田兵二

その11 数字はおおざっぱに、時には細かく〜 森を見て、木も見る〜

ある飲食会社の社長とお話していた時のことです。その社長は、毎月、会社の数字のどこを見ますかと一問一答に、「原価率と人件費率」の合計の比率(プライムポイントとかF/Lコストとかいいます。)を最重要視して見ますと一答が返ってきました。

「原価率と人件費率」の合計が、何%以上になったら、まずい! という感覚で、毎月の数字を見られているそうです。この話は、別の飲食店の社長にも聞いたことがありますが、なかなかおもしろい見方だと思います。

合計 60ポイントを持っていて、それを「原価」に30ポイント、「人件費」に30ポイント割り当てる。とか、一部加工済みの食材を使うまたは、セントラルキッチンを導入すると、原価に32ポイントかかるけれど、人件費は25ポイントに抑えられる。というように使うそうです。まさに、経営方針に関係する数字だと思います。

忙しい社長さんに、是非見ていただきたいのは、このようポイントを絞った「おおざっぱな数字」です。

まずは、基本的な、「売上」「原価率」「固定費」の3つを見ていただき、現状を把握します。次に、前述の社長にとっての「プライムポイント(F/Lコスト)」のような自社にとって重要な数字を見て問題がないか確認します。重要な数字が、ある会社においては、「広告宣伝費比率」かもしれませんし、「運送費比率」とか「燃料費比率」かもしれません。実は、この自社にとって一番重要なポイントとなる数字を決めるのも社長の重要な仕事です。

私の場合、重要な数字の1つは、「生産性」(1人当りの売上)とか「付加価値」のことです。売上「原価率」「固定費」に加え、「生産性」をじっくり見ていると、様々な考えが浮かんできます。
生産性の水準は、適正か? (お客様は満足されているか?)
・スタッフ1人1人の役割は、適正に分担されているか? (協力体制ができていますか?)
・正確な作業・スピーディーな作業をするための環境は整っているか? (広いスペース 新しいPCは必要か?)

ただし、おおざっぱに森を見るだけでは、ためです。たとえば、私は、「研修」は、会計事務所にとって一種の仕入れだと考えています。「研修費」に関しては年間予算をあらかじめ決めておきますので、定期的に、「研修費」の内容を見ることにしています。だれが何の研修を受けているか、又は、受けていないのか? 自発的な研修参加ですので、研修費の内容を見ていると、スタッフ1人1人の問題意識が見えてきます。

規模のあまり大きくない会社は、経費の大部分が、社長の考え方に従って「支出」されます。従業員を雇うべきか? 設備投資は? 広告費はいくらかける? 借入はすべきか? すべて、社長の決断です。その決断の結果は、すべて数字に表れますので、「こまかい数字は面倒だ」というわけにはいきません。

森を見て、木も見る。
「会計」は、私たちにそのどちらも見せてくれます。

スタッフブログ「ほっと一息」：担当 仲田 薫子

大切な繋がり

私は今までに2回アルバイトをした事があります。

1回目は、高校に入ってすぐ始めたピザ屋さんのアルバイトで、中でピザを作っていました。正直ここでのバイトは向いてなかったと思います(笑)。でも、やめたいと言いつつ気がつかず高校3年生まで続けてました()。

次に始めたのが、「夢庵」というかいらーく系列の和食レストランでのホールバイトでした。始めた理由は、ただ単にオープニングスタッフであった事、接客がしてみたかった事の2点でした。このアルバイトは長かったです……高校3年生になってから事務所で働くようになる1ヶ月前まで続けていました。

ファミリーレストランで、朝9時から深夜2時まで営業しているため、働いている人の年齢層もさまざまでした。しかも、中心メンバーはたいてい一緒にしる、なんらかの事情でやめていく人もいるため人の入れ替わりも頻繁にありました。新しく(?)入ってくる人の中には、1度やめてまた戻ってきた人や社員さんとしてうちの夢庵で働いていた人が転職になり他の夢庵で働いていてははずなのにアルバイトとしてまたうちに戻ってくるという事もありました。これが良い事か悪い事かは別にして、私にはその理由がすぐ分かる気がします。

メンバーがすごく仲良しなんです

しかも中心メンバーだけで固まる事は決してなく、新しい人が入ってきたらその人も仲間に引き込んでしまうような人達の集まりなので、飲み会をしたり、ボーリングに行ったりと、イベントを何か企画すると年齢・バイト期間の長短など関係なく、いろんな人が集まりました(笑)。

でも、楽しくてもラクとは少し違っていたと思います。ファミリーレストランと言えど和食レストランというだけありお年寄りの方がよくられます。そのため接客マナーは結構厳しい方だったと思います。何度も怒られた事や失敗した事もありました。でも、怒ってたはずの店長や社員さんが、後で何もなかった風を装ってわざと明るく話し掛けてきたり、次の日の朝に落ち込んだ様子で「昨日は言い過ぎた」と言いながら高校生の私に謝ってきたりするんです(笑)。

私は今でもここで知り合った仲間が大好きです。夢庵でのバイトは、いろんな事を私に教えてくれた気がします。

今でも頻繁すぎるくらい頻繁に連絡をとっており、何か相談事があれば話を聞いてもらったり、または聞いてあげたりしています。飲み会も3ヶ月に1回くらいペースで開かれています。現在夢庵で働いている私が全く知らない子とも参加したりしています(笑)。

永遠はムリでも、みんながおしーちゃん・おばあちゃんになるまでこの関係を続けていければなあと思うのが今の私の望みです。

< 研修旅行に伴う事務所クローズのご案内 >

研修旅行のため、下記の期間業務をお休みさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

事務所クローズ期間 平成 20年 3月 19日 (水) ~ 平成 20年 3月 21日 (金)